

## 高血圧に対する新しい治療法（腎デナベーション、腎除神経術）について

高血圧は我が国では患者数が約 4,000 万人に昇ると言われ、いわば国民病とも言える病気です。高血圧の原因は様々ですが、交感神経が活発となることが主な原因の 1 つであると考えられています。降圧治療としては、生活習慣の改善や薬物療法が行われますが、どうしても血圧が十分に下がらない（難治性高血圧の）方もたくさんいらっしゃいます。そのような方は動脈硬化が進行し、脳卒中、心筋梗塞、慢性腎不全を起こしてしまう危険性が高くなりますので、有効な治療法の開発が切望されてきました。

近年、活性化している腎臓への交感神経を電気で焼いて血圧を下げる**腎デナベーション（腎除神経術）**が行われるようになりました。この治療は、カテーテルと呼ばれる管を足の付け根の動脈（大腿動脈）から入れて行います(図)。狭心症に対して広く行われているカテーテル検査・治療と類似の方法で行うことができるため、手術に比べると体への負担は格段に少なく、合併症の発生率も極めて低値です。このような比較的簡単な方法により、難治性高血圧患者様の**血圧が長期にわたり低下を示し**、心肥大が改善し、血糖が低下することが報告されています。このような理由から、**腎デナベーションは次世代の降圧治療として世界的に大変注目されるようになっています**。

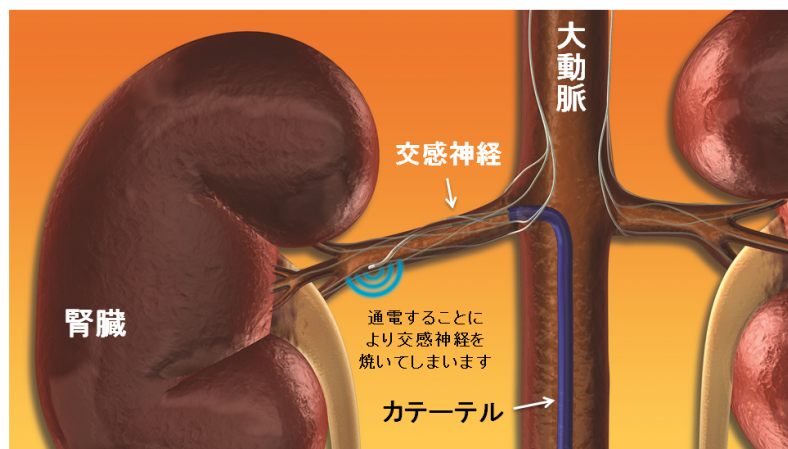


図 腎デナベーション